

令和4年度 第2回 大阪市立加島小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立加島小学校

校 園 長 名 城 牆 雅 一

日 時		令和4年11月22日（火） 19：00～20：00	
場 所		大阪市立加島小学校 2F 多目的室	
出席者	委員など	西岡 嘉裕(委員)、大崎 慎一(委員)、坂本 秀美(委員)、福場 弥生(委員)、武田真実子(委員)、津國 倫子(委員)、田中 守(委員)	
	校 園	城牆雅一(校長)、篠崎昌美（教頭）、住籾泰司(教務主任)、上山裕之（人権教育主担）	
	区役所	松尾 直美（窓口サービス課長）	
議題		① R4「運営に関する計画」中間評価について ② R4「全国学力・学習状況調査」結果について ③ 学校の現状について	
協議 要旨	協議の結果		意見の概要
	①	学校関係者評価(「運営に関する計画」中間評価)について →承認される。 「学校関係者中間評価アンケート」の結果について→承認される。	・本を読んでいるのに、漢字が書けないのはなぜか。ICTの取組みの流れで字を書くことが少なくなったことも原因ではないか。 →子どもたちは絵本のような読みやすい本を選ぶ傾向にある。家庭で本を読む習慣も十分ではないとアンケートにも表れている。タブレット端末の活用が増加しても、書く時間はしっかり確保するよう努めていきたい。 ・高学年で九九を忘れている子どもがいるということであるが、不思議に思う。 →反復練習の時間を確保し、卒業までには復習させたい。
	②	全国学力・学習状況調査について →承認される。	・親が読書をしないと子も読まない。親への啓発も必要ではないか。 →音読の宿題も出している。家庭への読書の啓発を進めたい。 ・学力調査の問題は文章が読めないと答えられないのではないのか。 →国語以外の教科の問題も文章が理解できないと答えられないようになっている。児童の文章読解につながる研究を進めている。 ・10年ほど前より、結果が下がっている原因は何か。 →無回答率が高いことから、選択肢問題も記述式も、回答をあきらめてしまっているように感じる。 ・勉強が苦手な子の底上げに力をいれるべきではないか。 →現在、個別指導等フォローアップにも力を

		入れている。 →授業力向上に向けた研修を進めている。
協議 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ R 4 「運営に関する計画」 中間評価、 R 4 「全国学力・学習状況調査」 分析結果 ・ 区役所配布資料（学校協議会について、全国学力・学習状況調査大阪市の結果について、学校協議会委員研修について） 	
備考	傍聴者[0]名	